

〔長久手町業務評価票：平成 18 年度業務〕

課係NO・業務NO	-	総合計画	4 節 3 項総合計画	文化環境の整備
担当課・係名	文化の家課 管理係【問合せ・質問等の先 0561-61-3411番】			

業務の名称	施設維持管理				
(1)根拠法令・条例	長久手町文化マスタープラン				
(2)当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>50</u> % (系の総業務量を 100%とする) 職員延人数： <u>448</u> 人・日 (臨時雇用者延人数： <u>0</u> 人・日)				
(3)事業費 (人件費分を除く)	<u>195,687</u> 千円 (平成18年度決算 (細目・細々目の実績から抽出・算定する))				
(4)補助率(補助金がある場合のみ記載)	<u>0</u> % (平成18年度実績)				
(5)業務期間	開始した年度	10年度	終了(予定)年度	年度	
(6)業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)					
業務目的 (達成目標)	安全かつ使いやすい施設の効率的な維持管理を図ること。				
業務が対象とする住民 (地域、層)	町内外の施設利用者				
業務の具体的な実施内容・方法 (平成18年度実績)	委託業務 (契約金額の上位 5 業務を記載) について、業者と随時打合せし、適正に施設を保全するべく監督、指示を行った。また、修繕が年々増えているため、利用者に不便を掛けないよう随時修繕を行った。 施設管理業務委託 (設備、警備、受付、清掃)、舞台管理業務委託 (舞台運営技術管理)、舞台関係保守点検業務委託 (舞台機構、照明、音響)、情報ネットワークシステム保守点検業務委託 (機器等保守)、植栽維持管理委託 (樹木剪定、防虫駆除、施肥) を仕様に基づき業者に実施させた。				
業務の実施結果 (平成18年度実績)	特段事故もなく業務が実施された。また、委託項目を精査し上記5業務で契約経費の節減が図れた。				
	【業務結果の説明指標】				
	結果の説明指標	17年度	18年度 実績	19年度 目標	将来目標
	1				
	2				
	3				
	4				
	5				
業務の成果 (業務目的の達成状況) (平成18年度実績)	業務目的に沿い、適切に維持管理できた。				
	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】				
	成果の説明指標	17年度 実績	18年度 実績	19年度 目標	将来目標
	1 節減合計額		5,158,513		
	2				
	3				
	4				
	5				

(7)遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）
設備、機器が年々古くなっていく中で、修繕箇所が増えている。今後は大規模修繕の計画と予算の確保が必要になるとともに、事前の点検委託等の項目を増やす計画も必要と考える。

(8)改善実績（過去3年間の実績）
平成18年度から、舞台管理業務委託（舞台運営技術管理）の常駐スタッフを0.5人分減らし、ホール事業の内容を確認の上スポットで委託することにより、経費を節減した。

(9)業務の評価（自己診断）		
評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	4 点
コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	4 点
業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	4 点
住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	4 点
総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	4 点
他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	4 点
		平均 4.0 点

(10)総合評価（課の見解）	
今後の方向 (該当番号に○印)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前年度と同じく、そのまま継続する。 2. 見直して継続（業務の拡大） 3. 見直して継続（業務の縮小） ○ 4. 見直して継続（方法の改善） 5. 見直して継続（他業務と統合） 6. 廃止する。 7. 休止する。
評価理由	各委託業務の内容を精査し改善する。

(11)今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）
設備修繕を計画的に行うため、修繕カルテを作成した。これを更に精査し、管理運営、施設整備を行う。